

ナノジェットパルの応用例

カーボンナノチューブ

カーボンナノチューブは炭素のグラフェンシートが単層若しくは多層の同軸管状になった物質で、鉄鋼の数十倍の強度を持ち、耐熱・耐薬品性に優れ、高い電気伝導性と熱伝導性を有する夢の素材です。しかし、分散性が悪く色々なものに応用する場合、障害となっています。この問題に対しナノジェットパルは短時間に効率よく、しかもカーボンナノチューブを傷つけることなく分散させる事が出来ます。

超音波による分散処理



処理時間：1時間

ナノジェットパルによる処理



処理：150MPaで3パス